

「鉦山の町」あけのべまち歩きコース

日本遺産にも認定された明延鉦山の遺構と鉦山稼働当時の栄えた町並みの面影を感じることができるルート。鉦山最盛期には4000人近くが居住し、繁栄の一途をたどった明延も現在では、人口100人を切り、当時に比べれば非常に寂しいまちに。しかし、明延の街並みや雄大な鉦山遺構は、見る人々に昭和の懐かしさと感動を味わうことができます。

- 1 明延の玄関口、全但バス「明延」停留所前にあるのが「あけのべ憩いの家」。一元電車の定期運行日には各種観光案内、見学受付や「喫茶一元電車」がオープンし、多くの人でにぎわう施設である。
- 2 憩いの家から上り坂を進んでいくと、両松寺と鉦山稼働時に商店が立ち並んだ町並みが現れる。空き家となった商店からは、当時の面影を残す看板やポスターが当時の繁栄さをうかがえる。
- 3 そこから、川沿いに1 kmほど進むと明延鉦山が稼働していた当時の本部を見上げるインクライン跡にたどり着く。当時の面影を残すインクライン跡はまさに圧巻の一言。
- 4 インクラインへ来た道に戻る途中に近代化産業遺産にも認定された「第一浴場」がある。モダンな造りである建物の内部には、地元の方が収集した鉦石や明延の様々な備品が展示されている。
- 5 明延川を渡ると三角屋根の特徴的なドームを持つあけのべ自然学校が現れる。廃校となった小学校を利用した集団宿泊施設である。一元電車定期運行日以外の坑道見学の受付はここでやっている。
- 6 明延トンネルを抜けるバイパスを進み途中側道へ入るとすぐのところには小林酒店が見えてくる。明延で唯一常時営業している店舗であり、お酒のほかに明延の関連グッズも購入することができる。
- 7 側道を進んでいくと青い屋根が特徴的な「北星社宅」が見えてくる。当時のままの状態が残る社宅にノスタルジックさを感じさせる。
- 8 北星社宅跡からバイパスに出て、「明延」停留所に戻る途中、一元電車明延線の線路が見えてくる。定期運行日はもちろんのこと、運行日以外でも一元電車は常時公開されており、車内に入ることも可能。



● 難易度：★★★
 ● トイレ：あけのべ憩いの家、あけのべ自然学校
 ● アクセス：・電車・バス：JR八鹿駅より全但バス明延八鹿線に乗り、「明延」停留所下車
 ・車：あけのべ自然学校又はあけのべ憩いの家
 ● 問合せ：あけのべ自然学校
 TEL:079-668-0258

距離(約)
4 km